

図書館だより

第1号 令和元年5月
発行：北摂三田高等学校
図書委員会

新しい生活が始まり1か月経ちました。ずっと新しい環境に馴染めた人もいれば、まだまだこれからのもいると思います。ゆっくりでいいので“ほくさん”のことをたくさん知って、自分の居場所を作ってください。図書室は読書・勉強・情報という3つのセンター機能を持っています。ぜひ1度遊びに来てください。

【開館時間】

昼休み 12:15 ~ 12:55

放課後 15:20 ~ 16:50

★月曜日は6限目までのため、昼休みのみ開館

★蔵書数は1万8千冊。新着図書については、HPで紹介していきます。

図書担当者

今年度お世話になる先生方を紹介します。主に3名の先生で運営しますが、総務部の藤原先生・稲角志乃先生もお手伝いして下さいます。

稲角和彦 先生（国語）

歴史小説が好きで、若い頃からよく読んでいます。

伊窪正輝 先生（地歴・公民）

風間八宏さんの『伝わる技術』を繰り返し読んでいます。

稲葉弥生 先生（実験・実習）

最近読んだ本は、高田郁さんの『あきない正傳金と銀』です。

図書委員会

4月10日に図書委員会があり、3役が決まりました。今年は学年より2クラスずつ役割を決め、活動します。カバーリング・ディスプレイ・図書館だよりの3つの役割を担います。また図書館だよりを利用し、図書委員によるクラス向けの読書案内も行います。読書案内第1回目は、“新聞を読もう”です。

図書委員長 福田康平君のおすすめ本

『神様の御用人』

浅葉なつ著 アスキー・メディアワークス

ひょんなことから神様の御用を聞く役目(パシリ)に付かされてしまった、フリーター良彦とモフモフ狐神の黄金が、神様の御用のために東奔西走するお話です。物語中には、須佐之男命(すさのおのみこと)や、大国主命(おおくにぬしのみこと)など、有名な日本の神様が出てきたりします。心温まる話が多いので、一度手に取ってみてください。



新聞を読もう



図書室では『朝日新聞』を購読しています。ネットニュースなどで情報が入ってくるので、最近では新聞の購読をされないご家庭も増えてきました。まず新聞を読む習慣をつけて、本を読む土台にしてください。図書委員に新聞について、教えてもらおう！

1. 新聞の種類

3つのカテゴリーがあります。本校のご家庭でよく読まれている『神戸新聞』は地方紙です。

全国紙	読売・朝日・毎日・日経・産経の5紙です。
ブロック紙	北海道新聞・西日本新聞など。複数の地方にまたがって販売されています。
地方紙	神戸新聞など。特定の地方で販売されています。

2. 構成

紙面トップがその新聞社で一番伝えたい記事です。続いて左上の記事になります。同じ日の紙面でも新聞社によって、扱う記事が異なる場合があります。

3. 天声人語

朝日新聞の名物コラムで、明治37年から始まりました。基本は603字です（原稿用紙1枚半位）。

4. 社説

社会の重要な問題について解説したうえで、その新聞社としての主張や見解を表明するものです。毎日2本載っていますが、大きな事柄の時は1本にまとめて載せることもあります。

5. 図書室の取り組み

新聞の他に『朝日キーワード』年刊・『新聞ダイジェスト』月刊を購入しています。



新聞ダイジェストとは・・・

新聞6紙の記事を1か月分まとめたものです。

巻末に時事問題が載っています。

活用してください。